

第三十七回県体育祭

二七〇名が参加

九月十六日、二十二日、二十三日の三日間、甲府を中心会場に開催された山梨県体育祭りに、都留市から二〇種目に約二七〇名の選手、役員の方々が参加しました。

六十一年「かいじ国体」を目指し「スポーツ県やまなし」宣言記念大会となった体育祭りは、盛大な開会行事から始まり各種目に都市の期待のもとに大熱戦が展開されました。

都留市の選手団も各種目で健闘し六位以内の入賞も数種目ありましたが残念ながら総



合成績で十位に終わってしまいました。

冬のスキー、スケートから始まるこの県体育祭りに市民の期待に添うべく市体育協会の総力を挙げると共に関係各位のご協力のもとに来年度は一段の飛躍をするつもりであります。尚今年度の総合成績及び入賞種目等は次のとおりであります。

- ◎男女総合 第十位
- 男子総合 第十位
- 女子総合 第七位
- ◎入賞種目
- (男子)
- 剣道 四位
- クレール射撃 四位
- スケート 五位
- (女子)
- バスケットボール 準優勝
- 軟式庭球 三位
- ハンドボール 四位
- バドミントン 四位

渡辺浜氏(七十一歳)

山梨県体育功労者賞受賞
第三十七回県体育祭開会式の席上、昭和五十九年度の山梨県体育功労者として、都

留市体育協会より推薦いたしました渡辺氏が、永年の体育スポーツに対する功労が認められ表彰されました。

渡辺氏は市内外においてスケートの普及・指導・競技力の向上など数十年の活躍があり、市及び県体育協会にその実績が高く評価されたものであります。



今後益々渡辺氏のご活躍されることを願いながらご報告いたします。

一日保母を体験

都留市体育協会

都留保育所連合会では、今日多様化している保育所の機能、保育者の仕事及び児童福祉施設としての保育所を行政関係者をはじめ、保護者から正しく理解されることをねらいとして、一日保母体験を東桂保育園、道志保育所、秋山村小和田保育所で実施しました。



十月十九日(金)東桂保育園では、柴田保育所連合会長(室保育所長)より一日保母に委嘱された高部春江さん(市長夫人)が、園児の出席をとったり、給食と一緒に食べたりました。高部さんは、「このような楽しい体験のなかで幼児期保育の大変さ、大切さをあらためて感じました」とはなしてくれました。

市民合唱団が県代表として関東大会に出場

第三十七回県芸術祭・合唱祭及び全日本合唱コンクール山梨県大会が十月十四日(富上五湖文化センター)で行われました。

このコンクールに参加した都留市民合唱団は、一般の部で金賞とあわせて関東合唱コンクールへの出場権を獲得しました。

市民合唱団の指導にあたっては、沢田洋一先生は「毎週火・金曜日に練習をしている。このような積み重ねられた練習の成果を十分に発揮できたことが、合唱団結成三十年の記念すべき年に、十七年ぶりの県代表になれた」と語ってくれました。

十月二十一日(日)に東京で行われた関東大会では、混声四十五人で出場、自由曲にケルビーニ作曲のレイイムハ短調よりオフエルトリエームを選び、音量大かに合唱しました。

